

あきしま市議会だより

No.286

令和5年(2023年)10月31日

おもな内容

- 決算審査(質疑、賛否の分かれたもの)・・・ 1面～2面
- 討論・・・ 2面～4面
- 補正予算審査(質疑)・・・ 3面
- 賛否の分かれたもの・・・ 4面
- 一般質問・・・ 4面～8面
- 会議の開催状況・・・ 5面
- 提出案件と結果・・・ 6面
- 請願・陳情・・・ 7面
- これからの会議の予定・・・ 8面

編集:昭島市議会 議会運営委員会 発行:昭島市議会事務局 〒196-8511 東京都昭島市田中町一丁目17番1号 電話:042-544-4476 昭島市ホームページ <https://www.city.akishima.lg.jp/>

第3回定例会

令和4年度の各会計決算を認定 (一般会計決算歳出総額 496億2千926万円) 市民総合交流拠点施設整備事業を含む 令和5年度一般会計補正予算など21議案を可決

令和5年第3回昭島市議会定例会が、8月31日から9月29日までの30日間を会期として開かれました。市長から提出された議案21件が可決及び認定され、一般質問は4日間にわたり19人の議員が行いました。



▲秋の楽しみ盛りだくさん (左上:アキシマエンスィス 右上:エコ・パーク
左下:市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル2023 右下:ヒガンバナ)

決算審査 特別委員会

◇開催日 9月21日・22日・25日

◇委員長 吉野 智之

◇副委員長 木崎 親一

◇委員数 19人

(正副議長、監査委員を除く)

◇審査結果 各会計とも認定



副委員長 木崎親一



委員長 吉野智之

各会派の主な質疑 (質疑順に掲載)

公明党昭島市議団

質問 職員の研修について、現場での経験が一番の研修になると考える。OJTを含め、市の職員が講師となる研修はあるのか。

答弁 新任職員研修や実務基礎研修などで市職員が講師を務めている。

質問 ふるさと納税について、住民税の控除額と寄附額の乖離が大きい。今後の取り組みは。

答弁 市の魅力の向上と積極的な発信、新たな返礼品の発掘にも努めていく。

質問 粗大ごみ収集のインターネット受付や手数料のオンライン決済を検討すべき。考えは。

答弁 インターネット受付は令和7年度以降に実施予定であり、電子決済については検討していく。

質問 市民活動支援事業補助金について、①既に実施している地域猫と市民の共生促進プロジェクトの支援を継続する考えは。②地域猫活動を行う新たなNPO団体も当該補助金を活用できるのか。

答弁 ①継続する団体に対し、審査を経て最大5回の補助が可能である。②審査において、審査が通れば

補助の対象となる。

質問 インフルエンザワクチン接種について、①4年度の65歳以上の接種率が前年度と比べて約10%増加した理由は。②他市の病院で補助を利用した接種は可能なのか。

答弁 ①都の補助により、自己負担がなくなったためと考える。②自治体ごとで契約のため、市内の指定医療機関での接種となる。

質問 公園等の草木が非常に茂っており、剪定してほしいとの声を聞く。計画的に実施しているのか。

答弁 公園については年間計画に基づいて、2回から4回実施している。

質問 小中学生が平和に生活しているのか。

答弁 社会科の授業や総合的な学習の時間の中で扱っている。

質問 G L P昭島プロジェクトについて、①計画区域

質問 コミュニティ推進事業費について、①自治会などへの補助金が増えた理由は。②市民総合交流拠点施設にはどのようなコミュニティをつくるのか。

答弁 ①令和3年度までコロナ禍で減額していたが、

都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団

質問 学校の人材連携の仕組みづくりは大切と捉えており、今後検討していく。

みらいネットワーク

質問 継続する団体に対して、審査を経て最大5回の補助が可能である。②審査において、審査が通れば

令和4年度各会計決算額

一般会計		
歳入	521億4752万8599円	
歳出	496億2926万2692円	
国民健康保険特別会計		
歳入	118億2334万9071円	
歳出	115億4751万6955円	
介護保険特別会計		
歳入	100億3982万1622円	
歳出	96億7425万3613円	
後期高齢者医療特別会計		
歳入	29億5553万1983円	
歳出	28億9928万1366円	
中神土地区画整理事業特別会計		
歳入	5億3815万8482円	
歳出	4億76万5137円	
水道事業会計		
【収益的収入及び支出】		
収入	19億1104万6443円	
支出	15億5724万3043円	
【資本的収入及び支出】		
収入	965万2000円	
支出	7億2650万3055円	
下水道事業会計		
【収益的収入及び支出】		
収入	24億8634万7698円	
支出	21億7330万4068円	
【資本的収入及び支出】		
収入	5億3962万195円	
支出	13億1529万6168円	

2面上段へ続く

1面下段より

日本共産党昭島市議団

4年度は通常の額に戻したためである。②既存のコミュニティの事例を参考にしつつ、新しい形を考えたい。

質問 障害者虐待防止対策について、①研修の実施状況は。②電話相談は24時間対応しているのか。

答弁 ①事業所向けに虐待防止研修を年1回行うほか、高齢者や障害者などへの虐待対応研修も実施している。②24時間受け付けている。

質問 子宮頸がんワクチンについて、新たにキャッチアップ接種を実施したが、接種人数に対する考えは。

答弁 4年度から550件となっており、対象者全体から比べてそれほど多い状況ではないと考える。

質問 自殺対策事業について、相談件数が増加している。予算を増額する考えは。

答弁 今後、会計年度任用職員なども含め体制を考えていきたい。

質問 特別支援学級(固定制)がない学校について、新たに設置する検討は進めているのか。

答弁 来年度は田中小学校に特別支援学級を新設する予定である。今後も状況を見ながら検討していきたい。

質問 国から借りている学校用地について、国に対し貸付料を無償化するよう申し入れを行っているのか。

答弁 回答を得ているのか。また、回答を得ているのか。

質問 全国市長会等を通じて要望しているが、良い回答を得られていない状況である。あらゆる機会を通じて、国に貸付料の無償化を要望していきたい。

無党派

フルタイム会計年度任用職員について、①令和4年度の配属状況は。②正規職員を配属することが重要と考えるが、任用にあたっての考えは。

答弁 ①学校給食課に1人配属した。②会計年度任用職員は、パートタイムやフルタイムを含め多様な人材の確保の観点から、様々な分野での任用を考えている。

質問 学童クラブについて、恒常的に待機児童が発生しているクラブがある。直ちに定員拡大に取り組むべきか。

答弁 施設整備での定員拡大は難しい状況であるが、学校や地域と連携した対応など引き続き検討していく。

質問 感染症対策のみならず、公衆衛生の面でも保健所には大きな役割がある。保健所の復活が必要と考えるが、対応は。

答弁 これまでも機会を捉え、保健所体制の機能拡充を都へ要望してきた。引き続き市長会等を通じて、要望に努めていく。

質問 建設業界の働き方改革について、土日を休日とする完全週休2日制の実現に向けた取り組みは。

答弁 完全週休2日制の工事を4年度に1件発注した。今後も工事の条件等を鑑み、対応を検討していく。

質問 子どもの貧困について、地域特性を考慮した比較分析が重要と考える。他自治体との協議や情報共有を行う考えは。

答弁 国等の動向を注視する

自由民主党昭島市議団

とともに、青少年問題協議会でも協議していきたい。

質問 後期高齢者医療制度について、上がったいく保険料に対し、激変緩和措置など市民の負担軽減を市として強く求めるべきか。

答弁 制度の安定的な運営に向けた財政支援等、市長会を通じて要望している。

無党派

質問 広報紙に掲載の市公式SNSのQRコードを個別に大きく掲載できないか。

答弁 紙面の構成上、毎回強調することは難しいが、年間スケジュールの中で掲載を考えていく。

質問 オーストラリアとの中学生海外交流事業がコロナ禍のため4年間実施できていない。再開する考えは。

答弁 双方の受け入れ体制、渡航に要する費用の上昇などの課題もある。どのような対応が可能か検討したい。

質問 情報システムの全国的な標準化に向けた準備作業の進捗状況は。

答弁 9月1日時点では全国で7番目の達成率であり、順調に進捗している。

質問 中神駅北側地域整備事業について、区画整理事業で計画道路に指定された地権者の権利の制限解除等、適切な対応を図る考えは。

答弁 築造予定のない指定道路は早急に廃止の手続きを行い、その他の指定道路も手続きを進めていく。

質問 部活動指導員等を配置することで教員の負担軽減につながるかと。

答弁 今後の財政需要を勘

自由民主党昭島市議団

減につながっていると認識しているが、成果は。

答弁 引率や実技指導の負担軽減が図られている。

質問 市民図書館の登録率が37.9%と非常に高いが、今後、40%を超えて近隣で一番高い武蔵野プレイスを凌駕していくための戦略は。

答弁 市民図書館の魅力の発信をするともに、市民のサードプレイスとして快適な空間を提供していく。

質問 コミュニティバスについて、①交通事業者緊急支援金の内容は。②1日券の価格を下げる考えは。

答弁 ①令和4年度は原油価格高騰等による燃料費の補助を行った。②ICカード導入を含め検討していく。

質問 市の魅力発信のため、PR動画の作成を中高生へ委ねる取り組みをしては。

答弁 どのような取り組みが可能か検討していく。

質問 情報セキュリティ監査の実施状況及び概要は。

答弁 職員が監査人を務める内部監査と、近隣自治体の情報部門の職員が監査人を務める外部監査を複数の職場を対象に実施している。

質問 住民票の写しなど、コンビニ交付の手数を窓口より安くしては。

答弁 システム利用料等の費用も発生しているため、検討が必要となる。

質問 公共施設整備等資金積立基金の残高が大幅な増になった要因は。

答弁 今後の財政需要を勘

本会議において賛否の分かれたもの(決算)

○は賛成 ×は反対

件名	議員数 名 数 内 は 含 ま れ ない 議 長 は 含 ま れ ない					採決の結果		
	自由民主党昭島市議団	公明党昭島市議団	日本共産党昭島市議団	立憲民主党昭島市議団	都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団	無党派	無党派	無党派
	(6)	(4)	(3)	(3)	(2)	(1)	(1)	(1)
令和4年度昭島市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	×	○	○	○	○	○
令和4年度昭島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	×	○	○	○	○	○

財政状況の実態は厳しいと感じているが、考えは。

質問 昭和町分室について、民間の活力を利用し、有効活用をしていく考えは。

答弁 財政構造的に厳しい状況にあると考えざるを得ない。

質問 公有財産活用方針に基づき民間の資金を活用するなど、どのような活用方法があるか具体的な検討を始めている。

答弁 地球温暖化対策を推進するため、住宅用新エネルギー機器等普及促進補助金を拡充する考えは。

質問 社会情勢等を踏まえ見直しを図っており、6年間の返還金を考慮すると、実質的に収入の約94%は義務的経費であり、市の裁量で使用できる財源は残り約6%のみとなる。

答弁 関係団体等と連携し、積極的に収入を確保していきたい。

質問 文化財等の広報を積極的に収入を確保していきたい。

答弁 文化財等の広報を積極的に収入を確保していきたい。

7回に渡る補正予算では、物価高騰対策などが盛り込まれたが、学校給食無償化や18歳までの医療費無料化の完全実施はされなかった。

また、新型コロナウイルススへの対応については、検査体制の不十分さが際立った。検査費用の助成、患者の生活支援策を進めるべき。

インボイス制度導入に伴い、シユレス決済ポイント還元事業などが実施された。

このほか、デジタル化施策の推進、脱炭素化社会・環境負荷低減社会に向けた取り組み、公共施設の老朽化対策も進められている。

経常収支比率が高止まりの状況で難しい行財政運営が続くと見込まれる中、将来都市像である「水と緑が育むふるさと昭島」の実現に向けた思いまちづくりに進めていただくようお願いし、本決算に賛成する。

令和4年度各会計歳入歳出決算を認定とする委員長報告について

本会議での採決に先立ち、討論が行われました。

令和4年度各会計歳入歳出決算を認定とする委員長報告について

反対

日本共産党昭島市議団

佐藤 文子 議員

市民の生活支援を求め、市民の生活支援相談業務を会計年度任用職員が低賃金で行っており、処遇改善と正規職員の増員を求める。

P F A S (有機フッ素化合物)については、対策チームを立ち上げるべき。

物流施設建設の計画地域に係る市の地区計画案に示された回遊路の確保と東西道路新設は上位計画になく、削除すべき。

以上を指摘し、反対する。

賛成

自由民主党昭島市議団

小林 こうじ 議員

新型コロナウイルス感染症対策において、ワクチン接種や高齢者等へのPCR検査、自宅療養者への支援策等における衛生用品等の配備など着実かつ適切な対策が講じられた。

また、物価高騰対策として、水道料金・下水道使用料の基本料金減免、プレミアム付商品券事業、キャッ

賛成

公明党昭島市議団

松原 亜希子 議員

新型コロナウイルス感染症の影響により、市が行う数多くの事業が中止を余儀なくされ、市民生活に大きな影響を与えています。

令和4年度各会計歳入歳出決算を認定とする委員長報告について

補正予算審査
特別委員会

◇開催日 9月7日
◇委員長 小林こうじ
◇副委員長 松原亜希子
◇委員数 20人
(正副議長を除く)
◇審査結果 各会計とも
原案可決

各会派の主な質疑
(質疑順に掲載)

自由民主党昭島市議団

質問 普通交付税について、令和4年度は不交付であったが、5年度の当初予算で1億円計上し、最終的に今回更に約1億9千万円の増額となっているが、理由は。

答弁 当初予算は前年度当初予算と同額とした。今回の増額は、保育所などの児童福祉費や障害福祉費におけるサービス量の増によるものと推測する。

質問 市民総合交流拠点施設の第二駐車場について、①用地取得の費用が当初予算より8千200万円の減額となっているが、理由は。②駐車場数は何台を予定しているのか。

答弁 ①都が売却価格を決定する際、利用内容を踏まえた一定程度の減免があったためである。②24台程度駐車できると想定している。

質問 教育費における熱中症対策用の簡易テントについて、①どのようなものを購入するのか。②各学校に均等に一律で支給するのか。

質問 生活保護費について、

日本共産党昭島市議団

質問 設置や撤収が簡単なものを購入し、授業や部活動、学校行事、災害時などで活用することを考えている。①1校当たり一律4張りを用意している。

答弁 帯状疱疹ワクチン任意接種補助金について、①接種した方への助成額は。②万が一健康被害が起きた場合の補償等の考え方は。

答弁 ①生ワクチンは5千円を1回、不活化ワクチンは1万1千円を2回としている。②重篤な健康被害が生じた場合、法の規定に基づき給付が行われる。

質問 学校の備品購入費について、簡易テントの導入により屋外での熱中症対策が進んだことは評価する。子どもたちが学習に集中できるように、屋内での対策も重要と考える。見解は。

答弁 空調設備の保守点検の毎年実施に加え、機能を確保できるようにカーテンの活用などの対策をしていく。

質問 介護保険制度について、来年度は介護保険料の改定期となる。現在の介護保険料は据え置きとなるのか、あるいは値上げをするのか、今後の見通しは。

答弁 来年度からの3か年に向けて試算しているところだが、できる限り被保険者の方の保険料負担を抑えられるよう、施策等も検討する中で見極めていく。

都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団

質問 居場所づくりプロジェクト事業支援委託の922万1千円は3年間の総額か。

答弁 令和5年度の予算額7年度分は債務負担行為補正として計上している。

質問 3歳未満の第2子の保育料が無償化となるが、①財源の内訳で一般財源が減少している要因は。②今後の一般財源の使用用途は。

答弁 ①保護者と市が負担

質問 心身障害者福祉タクシード利用助成事業について、自宅等への迎車費用も対象となるよう検討するとのことだったが、その後の対応は。

答弁 令和5年4月より、助成の対象となるよう要綱を改正し、実施している。

質問 新型コロナウイルス感染症対策の簡易テントを購入した経緯は。

答弁 寄附者の希望に沿い、関係部署と調整し決定した。

質問 新型コロナウイルス感染症対策の簡易テントを購入した経緯は。

答弁 帯状疱疹予防の知識の普及については取り組むべきことであり、市ホームページに掲載していきたい。

質問 新型コロナウイルス感染症対策の簡易テントを購入した経緯は。

答弁 ワークショップの実施や居場所のためのリサーチ経費等として計上した。

質問 創立70周年に伴う日航航空電子工業株式会社からの寄附について、どのような周知していくのか。

答弁 寄附の受贈を広報紙の値上げにより、高齢者自身に迫り続ける無慈悲な制度である。また、令和4年度は団塊

都に對して負担金の返還があるが、生活扶助費における都負担金の具体的な役割は。

答弁 居宅がなく、入院や施設に入所する方などに対する負担金である。

質問 居場所づくりプロジェクト事業におけるワークエクト事業について、様々なニーズに対する市民の声をどのように吸い上げるのか。

答弁 会場だけでなく、ウェブコンテンツなどDXの力も借りながら様々な立場の方の意見を聞いていく。

質問 新型コロナウイルスについて、引き続き十分に警戒するように、市広報等で周知・啓発をすべき。

答弁 市ホームページで感染防止対策等を掲載している。今後も状況を把握し、必要に対応に努めていく。

質問 帯状疱疹ワクチン助成額は自治体により異なる。不活化ワクチンの助成額を1万1千円とした理由は。

答弁 先行自治体の助成額よりも更に市民の負担を軽くする目的で決定した。

質問 小中学校の熱中症対策

策としてテントを購入するが、ここ数年の熱中症警戒アラートの発報回数は。

答弁 運用が開始された2年度が17日、3年度が7日、4年度が10日、5年度は9月1日現在で24日となっている。

質問 テントは、貴重な寄附により購入するものであり、大切に使う意識を持たせることも教育の一つと考えるが、周知方法は。

答弁 テントの短辺部と長辺部に寄附者の名前を記載し、周知する予定である。

質問 補助率10割の都支出金を利用する市民総合交流拠点施設居場所づくりプロジェクト事業について、支出額922万1千円の内訳は。

答弁 ワークショップの実

公明党昭島市議団

質問 新型コロナウイルス感染症対策の簡易テントを購入した経緯は。

答弁 帯状疱疹予防の知識の普及については取り組むべきことであり、市ホームページに掲載していきたい。

質問 新型コロナウイルス感染症対策の簡易テントを購入した経緯は。

答弁 ワークショップの実

後期高齢者医療特別会計

2年ごとに改定される後期高齢者医療制度の保険料は、75歳以上の被保険者数が増えるのに応じ、自動的

に保険料が上がる仕組みとなっており、歳を重ねるがゆえにかさむ医療費を、保

険料の値上げにより、高齢者自身に迫り続ける無慈悲な制度である。

また、令和4年度は団塊

の世代が75歳を迎えたことにより前年に比べ被保険者数が5%増え、1万5千301人となった。戦後の日本を

築いてきた高齢者の命と健康を年齢で差別する医療制度の抜本改革こそ必要である。国の負担の増額を求め、高齢者医療制度の更なる拡

充や保険料の引き下げのため、に尽力するよう強く求める。

以上、制度の無慈悲さの下、保険料の値上げが行われた本決算に反対する。

賛成

自由民主党昭島市議団

美座たかあき 議員

一定以上の所得がある方の一部負担金について、新たに2割負担が導入されたが、制度の運営主体となる東京都後期高齢者医療広域連合では、被保険者の急激な負担増につながらないよう設けられた配慮措置とともに、構成自治体の負担金による独自の特別対策を継続し、低所得者層などに對

する負担軽減を図っている。制度の安定的な運営に十分配慮する中で、最大限考慮した結果であると評価する。一方、令和6・7年度の保険料の検討にあたっては被保険者数の大幅な増加や物価高騰等の影響もあり、慎重な検討が必要である。引き続き東京都後期高齢者医療広域連合の構成市として、高齢者の健康で安全・安心な生活を守るため、適切な役割を果たすことを要望し、本決算に賛成する。

2面下段より

下水道使用料の減免、キャッシュレス決済ポイント還元事業、プレミアム付き商品券事業、学校給食用食料購入費補助など、市民の要望が多く実施されており、高く評価する。

引き続き財政健全化に努めつつ、多様性と意外性のある楽しいまち昭島の構築に向け、たゆまぬ努力を願

い、本決算に賛成する。

後期高齢者医療特別会計

の世代が75歳を迎えたことにより前年に比べ被保険者数が5%増え、1万5千301人となった。戦後の日本を築いてきた高齢者の命と健康を年齢で差別する医療制度の抜本改革こそ必要である。国の負担の増額を求め、高齢者医療制度の更なる拡充や保険料の引き下げのため、に尽力するよう強く求める。

以上、制度の無慈悲さの下、保険料の値上げが行われた本決算に反対する。

賛成

自由民主党昭島市議団

美座たかあき 議員

一定以上の所得がある方の一部負担金について、新たに2割負担が導入されたが、制度の運営主体となる東京都後期高齢者医療広域連合では、被保険者の急激な負担増につながらないよう設けられた配慮措置とともに、構成自治体の負担金による独自の特別対策を継続し、低所得者層などに對

予算の補正状況

一般会計補正予算(第4号)

Table with 2 columns: Item, Amount. Includes 当初予算 (491億 円), 前回までの補正額 (18億6660万円), 今回補正額 (25億2130万円), 予算総額 (534億8790万円).

国民健康保険特別会計(第1号)

Table with 2 columns: Item, Amount. Includes 当初予算 (124億3500万 円), 今回補正額 (2億7583万2千円), 予算総額 (127億1083万2千円).

介護保険特別会計(第1号)

Table with 2 columns: Item, Amount. Includes 当初予算 (103億4833万7千円), 今回補正額 (3億6556万8千円), 予算総額 (107億1390万5千円).

後期高齢者医療特別会計(第1号)

Table with 2 columns: Item, Amount. Includes 当初予算 (29億3027万6千円), 今回補正額 (8928万1千円), 予算総額 (30億1955万7千円).

中神土地区画整理事業特別会計(第1号)

Table with 2 columns: Item, Amount. Includes 当初予算 (3億3435万3千円), 今回補正額 (1723万9千円), 予算総額 (3億5159万2千円).

無会派

質問 市のごみ処理施策について、①駅から近く利便性の高い昭と公園陸上競技場を敷地は国土交通省河川局から借用しているが、将来にわたり継続して使用できるのか。②駅周辺はたばこのポイ捨てが多い。受動喫煙による健康問題への懸念も多いことから、駅周辺は全面禁煙にすべき。

答弁 ①令和8年9月まで河川占用許可を受けているが、その後の占用更新についても遺漏なきよう、国に確認しながら進めていく。②たばこを吸わない人にも理解される喫煙マナーの向上に向け、ポイ捨て禁止の呼びかけなどの啓発活動を強化していく。

質問 AS漏出事故について、防衛省は米軍から4年以上前に報告があったにもかかわらず都や周辺自治体に報告しなかった。現場と防衛省の信頼関係がすっかり築けているのか疑問だが見解は。

答弁 都と周辺5市1町連絡協議会では今回の件を受け、国においてより詳細な情報提供や地下水へ及ぼす影響の調査・公表等の必要な対応を行うことに加え、漏出等が判明した場合の速やかな情報提供を要請した。

質問 笑顔あふれるまち・昭島の実現に向けた取り組みについて、令和6年度の市制施行70周年と岩泉町との友好都市協定10周年の記念事業は市民と共に一丸となつて、市民が一人でも多く参加でき、幸福感を得られ、笑顔になれる事業として行つてほしいと考える。市の考えは。

答弁 多くの市民の笑顔があふれる記念事業となることを基本とし、昭島ならではの楽しさを実感できる事業に取り組んでいく。類似の事業として一時的に保育やちよこつと預かり保育を実施している。こうした既存の事業や各保育施設等との整合・調整などを図る中で、実施について検討していく。

質問 HSP・HSCについて進めていく。

答弁 HSP・HSCについて進めていく。

質問 学童クラブ待機児童対策について、福島学童クラブ地域でマッテマステーションが復活した。他の地域における待機児童解消策について考えは。

答弁 マッテマステーションの増設を目指すとともに、他の待機児童対策についても基本法を考慮し、来年度を目標に検討していきたい。

質問 美観と安全性を意識したまちづくりについて、戸街道の植栽の雑草等が車道側にはみ出ており、処理が必要と考える。所見は。④昭島駅周辺の野鳥対策について、鳴き声やふん害への対策として、野鳥撃退器具等を用いた飛来防止策を行つては、若い世帯の入居が想定される。①保育所や学童ク

答弁 ①復旧範囲が狭小の

質問 笑顔あふれるまち・昭島の実現に向けた取り組みについて、令和6年度の市制施行70周年と岩泉町との友好都市協定10周年の記念事業は市民と共に一丸となつて、市民が一人でも多く参加でき、幸福感を得られ、笑顔になれる事業として行つてほしいと考える。市の考えは。

答弁 多くの市民の笑顔があふれる記念事業となることを基本とし、昭島ならではの楽しさを実感できる事業に取り組んでいく。

質問 給食費無償化について、経済的に支えてもらえよう、市として正式に都へ要請していくべき。

答弁 ①関係部署が緊密な連携を図り、横断的に議論する中で、方向性について検討していく。②学校給食費無償化へ向けた補助制度の創設について、東京都市長会等を通じて都へ要望し

質問 外国人支援について、恒常的に活動できる環境を整えるべき。市

答弁 各団体に公平な活動場所を提供する必要性から相互の理解と協力をお願いしている。引き続きどのような対応が可能となるか関係機関と検討していく。

質問 健康保険証の存続を求める陳情について、継続させる必要がある。さらにマイナ保険証の利用率が著しく低い中でもこれらによる保険資格確認でト



美観と安全性を意識したまちづくりについて 自由民主党昭島市議員 小林こうじ 議員



給食費無償化について 無党派 永井みつる 議員



スポーツの秋 (市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル2023)

一般質問 (要旨)

本会議において賛否の分かれたもの

件名	採決の結果							
	自由民主党昭島市議員	公明党昭島市議員	日本共産党昭島市議員	都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議員	みらいネットワーク	無党派	無党派	無党派
健康保険証の存続を求める陳情	×	×	○	×	○	×	○	×

反対 日本共産党昭島市議員 大野 ふびと 議員 健康保険証は、保険証の登録を行ったマイナンバーカードに一本化され、現行の保険証は廃止となる。新たな発行される資格確認書は、申請が必要なため、障害者をはじめ、申請が困難な方などが保険診療を受けられないということが絶対にならないように現行の保険証を

健康保険証の存続を求める陳情を不採択とする委員長報告について 継続させる必要がある。さらにマイナ保険証の利用率が著しく低い中でもこれらによる保険資格確認でト

3面下段より

水道水の安全について、①市民にもわかりやすい安全といえる根拠は、②利用を含め、検討していく。市民に安心してもらうため、③市民の意見を踏まえ、公園遊具や園内表示板等への安全と今後の展開は、現状と今後の展開は、①8月に申請者全員から追加申請を受け付けている。今後の都の動向を注視する中、ヘルメットの普及等の積極的な推進を検討していく。②昭島警察署や自治会等で開催している。引き続き関係機関等と連携し、教育機関や地域活動等への支援・協力を進め、交通安全の普及に努めていく。

昭島市における生成AIサービスの活用について

自由民主党昭島市議団 安保 満 議員

スマート自治体の姿は、AI等の最新デジタル技術を積極的に活用して生み出された時間を、市民の顔の見える業務に注力することで、住民福祉の維持向上につながるかと考える。

この数年で急速に性能が向上している生成AIサービスは、業務の省力化や効率化に役立つと考える。①既に試行運用をしていることだが、採用を予定しているサービスはあるのか。②機械学習の結果を基に構築されていることから、Rと行政DXを強力に推進することにより、市が目指している。サービスの試行運用における禁止事項は、③サービスの本格導入前に市としてガイドラインの作成を検討しては、

一般質問 (要旨)



水面に映る秋の空 (多摩川)

健康保険証の廃止後、マイナ保険証を保有していない方に資格確認書が発行されるが、①システム開発や改修の経費はどのくらいか。②マイナ保険証保有の有無や配慮者への該当などの確認等で、過大な事務負担が発生するのでは。③現時点でシステム開発や改修の内容を示すことができないが、経費は国や都において適切に賄われると考えている。④資格確認書交付の具体的内容が示

資格確認書創設の市政への影響について

日本共産党昭島市議団 大野 ふびと 議員

①待機児童の保護者市長会を通じて財源の確保を重ねていく。②国に対し、

健康保険証の廃止後、マイナ保険証を保有していない方に資格確認書が発行されるが、①システム開発や改修の経費はどのくらいか。②マイナ保険証保有の有無や配慮者への該当などの確認等で、過大な事務負担が発生するのでは。③現時点でシステム開発や改修の内容を示すことができないが、経費は国や都において適切に賄われると考えている。④資格確認書交付の具体的内容が示

健康保険証の廃止後、マイナ保険証を保有していない方に資格確認書が発行されるが、①システム開発や改修の経費はどのくらいか。②マイナ保険証保有の有無や配慮者への該当などの確認等で、過大な事務負担が発生するのでは。③現時点でシステム開発や改修の内容を示すことができないが、経費は国や都において適切に賄われると考えている。④資格確認書交付の具体的内容が示

市民の意見を踏まえ、公園遊具や園内表示板等への安全と今後の展開は、現状と今後の展開は、①8月に申請者全員から追加申請を受け付けている。今後の都の動向を注視する中、ヘルメットの普及等の積極的な推進を検討していく。②昭島警察署や自治会等で開催している。引き続き関係機関等と連携し、教育機関や地域活動等への支援・協力を進め、交通安全の普及に努めていく。

水と緑の自然環境を未来に つなぐまちづくりについて

公明党昭島市議団 大島 ひろし 議員

昭島市は、水と緑の自然環境を未来に つなぐまちづくりについて、

健康保険証の廃止後、マイナ保険証を保有していない方に資格確認書が発行されるが、①システム開発や改修の経費はどのくらいか。②マイナ保険証保有の有無や配慮者への該当などの確認等で、過大な事務負担が発生するのでは。③現時点でシステム開発や改修の内容を示すことができないが、経費は国や都において適切に賄われると考えている。④資格確認書交付の具体的内容が示

健康保険証の廃止後、マイナ保険証を保有していない方に資格確認書が発行されるが、①システム開発や改修の経費はどのくらいか。②マイナ保険証保有の有無や配慮者への該当などの確認等で、過大な事務負担が発生するのでは。③現時点でシステム開発や改修の内容を示すことができないが、経費は国や都において適切に賄われると考えている。④資格確認書交付の具体的内容が示

請願・陳情の提出方法

市民のみなさんが、日頃考えている意見や要望を誰でも市議会に提出することができます。

議員の紹介のあるものが請願、ないものが陳情です。議会に提出された請願等(陳情で内容が請願に適合するものを含む)は、担当委員会で審査されます。

なお、請願・陳情者の署名があれば押印は不要です。

請願等の書式(例)

〇〇〇〇に関する請願 (紹介議員がないものは陳情)

請願(陳情)の要旨

紹介議員 〇〇〇〇印

年月日 (あて先)昭島市議会 議長(陳情)者 住所 氏名 電話

請願・陳情

陳情	件名	提出者	審査委員会 審査結果	本会議の 審議結果
	健康保険証の存続を求める陳情	東京保険医協会 会長	厚生文教委員会 不採択	不採択
	GLP昭島プロジェクトについて 昭島市の上位計画と整合し法令に則ったものとなるよう真摯な協議を昭島市に求める陳情	昭島市つつじが丘の住民	建設環境委員会 採択	採 択



質問 災害時の迅速な情報伝達の仕組みづくりについて、①市役所市民ホールにマルチスクリーンシステムを組み込んだ大型ディスプレイを導入するが、詳細は、②夜間大規模停電の際、また、ディスプレイは市民も利用できるのか。

②現場の情報がいち早く知るため、スマートフォン等を活用し市民が災害情報を提供する仕組みをつくる考えは。

ため、停電時でも消えない無停電照明装置を避難所までの動線に導入すべきでは。対策本部内での円滑な情報共有や応急対策をより適切に判断することが可能となる。市民へも貸し出しができるよう検討を重ね、準備している。②個人情報の取扱いなど課題がある。また、市民の基本的な考え方は、②市民の

質問 地球沸騰化時代の気候危機打開に向けた取り組みについて、①昭島駅北側地域の抱える諸問題は環境への甚大な影響が懸念される。生物多様性などに配慮したまちづくりへ最大限の力を傾注すべき。所見は。

②交通量の増大が生物に与える影響は非常に大きいと考えられる。見解は。

答弁 ①当該地域の開発により、緑の減少等の課題があることを認識している。市の各種計画と整合を図るよう引き続き事業者に向けて、②道路の新設等が行われた場合には、一連の生物多様性の形成に影響があると考える。警察との連携など具体的な質問 都内各地で実施が表

質問 妊産から出産、育児までをフルサポートする、あきしま子育てアプリ母子モについて、面談時等の質問票や予防接種時のデジタル予診票にも対象を拡充しては。

答弁 質問票サービスの検討を進めており、デジタル予診票の活用には医療機関における体制整備等に課題がある。どのような取り組みが可能で効果的か検討していく。

質問 ひとり親への養育費

質問 長期休暇中の学童クラブ入会児童への昼食提供をいち早く導入すべき。

答弁 先行自治体を参考に、他市の状況にも注視し、調査・研究していく。

質問 就学援助世帯の負担軽減に向け、就学援助費を学校長へ委任払いする制度の周知・啓発を。

質問 教育委員会と学校が連携を図り、様々な機会を通じて丁寧な周知・啓発に努めていく。

質問 保育所や学校の給食象者のうち令和2年度は約18%、3年度は約24%、4年度は約24%となっている。について、更なる拡充が必要と考える。今後の市の取り組みは。

答弁 補助金の拡充には新たな財源が必要であるため、物価及び国や都府県との連携などに注視し、支援の動向などに注視し、検討していく。

質問 木造住宅耐震補助制度について、初期費用の負担軽減のため、委任払いを市から工事業者等へ直接支払いをする委任払いについて、導入市の活用状況等を踏まえ研究していく。

質問 子育て支援体制の強化について

答弁 補助金の拡充には新たな財源が必要であるため、物価及び国や都府県との連携などに注視し、支援の動向などに注視し、検討していく。

質問 子育て支援体制の強化について

答弁 補助金の拡充には新たな財源が必要であるため、物価及び国や都府県との連携などに注視し、支援の動向などに注視し、検討していく。

質問 小・中学校の給食無償化に踏み出すことを求める

答弁 ①関係機関と連携し、痴漢犯罪防止啓発活動を実施しており、継続して取り組む。②全職員を対象に職場環境を含めたアンケートを実施し、庁内で結果を公表している。③支援ニーズ等の把握について、他自治体の取り組み状況を参考に検討していく。

質問 妊娠から出産、育児までをフルサポートする、あきしま子育てアプリ母子モについて、面談時等の質問票や予防接種時のデジタル予診票にも対象を拡充しては。

答弁 質問票サービスの検討を進めており、デジタル予診票の活用には医療機関における体制整備等に課題がある。どのような取り組みが可能で効果的か検討していく。

質問 ひとり親への養育費

答弁 先行自治体を参考に、他市の状況にも注視し、調査・研究していく。

質問 就学援助世帯の負担軽減に向け、就学援助費を学校長へ委任払いする制度の周知・啓発を。

質問 木造住宅耐震補助制度について、初期費用の負担軽減のため、委任払いを市から工事業者等へ直接支払いをする委任払いについて、導入市の活用状況等を踏まえ研究していく。

質問 子育て支援体制の強化について

答弁 補助金の拡充には新たな財源が必要であるため、物価及び国や都府県との連携などに注視し、支援の動向などに注視し、検討していく。

質問 子育て支援体制の強化について

答弁 補助金の拡充には新たな財源が必要であるため、物価及び国や都府県との連携などに注視し、支援の動向などに注視し、検討していく。

質問 子育て支援体制の強化について

答弁 補助金の拡充には新たな財源が必要であるため、物価及び国や都府県との連携などに注視し、支援の動向などに注視し、検討していく。

質問 子育て支援体制の強化について

答弁 補助金の拡充には新たな財源が必要であるため、物価及び国や都府県との連携などに注視し、支援の動向などに注視し、検討していく。

これからの会議の予定 11月～1月

開催日	開催時間	会議名	場所
11月14日(火)	午前9時30分	総務委員協議会	会議室402・403
11月15日(水)		厚生文教委員協議会	
11月16日(木)		建設環境委員協議会	
11月17日(金)	午前9時30分	特別委員会	会議室402・403
11月20日(月)			
11月21日(火)		議会運営委員会	

第4回定例会 *インターネット中継を実施

開催日	開催時間	会議名	場所	
11月29日(水)	午前9時30分	本会議(一般質問)*	議場	
11月30日(木)		本会議(一般質問)*		
12月1日(金)		本会議(一般質問)*		
12月4日(月)		本会議(一般質問・議案上程)*		
12月6日(水)		補正予算審査特別委員会		
12月7日(木)		総務委員会		
12月8日(金)		厚生文教委員会		
12月11日(月)		建設環境委員会		
12月12日(火)		特別委員会		
12月13日(水)				
12月15日(金)	午前9時	議会運営委員会	議場	
	午前9時30分	本会議(委員会審査報告・採決)*		

定例会後

開催日	開催時間	会議名	場所
1月中旬	午前9時30分	議会運営委員会	会議室402・403

◇第4回定例会で審査を希望する請願等は、11月15日(水)午後5時までに提出をお願いします。

傍聴を希望される方は、市役所4階の議会事務局の窓口までお越しください。日程等、変更になる場合もありますので、事前にお問い合わせください。
議会事務局 電話042-544-4476(直通)

質問 災害時の迅速な情報伝達の仕組みづくりについて、①市役所市民ホールにマルチスクリーンシステムを組み込んだ大型ディスプレイを導入するが、詳細は、②夜間大規模停電の際、また、ディスプレイは市民も利用できるのか。

②現場の情報がいち早く知るため、スマートフォン等を活用し市民が災害情報を提供する仕組みをつくる考えは。

ため、停電時でも消えない無停電照明装置を避難所までの動線に導入すべきでは。対策本部内での円滑な情報共有や応急対策をより適切に判断することが可能となる。市民へも貸し出しができるよう検討を重ね、準備している。②個人情報の取扱いなど課題がある。また、市民の基本的な考え方は、②市民の



質問 妊娠から出産、育児までをフルサポートする、あきしま子育てアプリ母子モについて、面談時等の質問票や予防接種時のデジタル予診票にも対象を拡充しては。

答弁 質問票サービスの検討を進めており、デジタル予診票の活用には医療機関における体制整備等に課題がある。どのような取り組みが可能で効果的か検討していく。

質問 ひとり親への養育費

質問 長期休暇中の学童クラブ入会児童への昼食提供をいち早く導入すべき。

答弁 先行自治体を参考に、他市の状況にも注視し、調査・研究していく。

質問 就学援助世帯の負担軽減に向け、就学援助費を学校長へ委任払いする制度の周知・啓発を。

質問 木造住宅耐震補助制度について、初期費用の負担軽減のため、委任払いを市から工事業者等へ直接支払いをする委任払いについて、導入市の活用状況等を踏まえ研究していく。

質問 子育て支援体制の強化について

答弁 補助金の拡充には新たな財源が必要であるため、物価及び国や都府県との連携などに注視し、支援の動向などに注視し、検討していく。

選挙管理委員及び同補充員の選挙結果

任期満了に伴い、9月29日の本会議における選挙の結果、次のとおり決定しました。

選挙管理委員 小松 豊 氏

鈴木 陽子 氏 (緑町在住)

長瀬 尚子 氏 (玉川町在住)

水野 和雄 氏 (昭和町在住)

同補充員 (〆)じが丘在住)

①島田 洋一 氏 (○数字は補充順序)

②高橋 ふみ子 氏 (大神町在住)

③久下 さかえ 氏 (昭和町在住)

④細田 悟 氏 (朝日町在住)

請負契約

件名	内容
庁舎外壁等改修工事請負変更契約	契約金額：(変更前) 561,799,326円 (変更後) 580,347,526円 工期：令和4年6月20日から令和6年2月7日まで 請負業者：株式会社カトービルドシステム